

あい、してる？

多く持っているものがあれば ひとつ 分けあい
距離があっても 困っている人がいれば 助けあい
心の余裕を保って 焦らず あわてず ゆずりあい
大変な時でも働く人に 皆で感謝して ねぎらいあい
明日も笑えるよう 心をおだやかに はげましあい

あいは、人を思う気持ちから始まる。

あいがあれば、皆がやさしくなれる。安心できる。豊かになれる。

そうして、ひとりひとり、支えあいたい。

SHARE♡
♡HELP
GIVE♡
CARE♡
♡CHEER



赤い羽根共同募金

皆様からのご協力をお待ちしております。
募金はお住いの地域の共同募金会窓口までお持ちください。

お問い合わせ
社会福祉法人 北海道共同募金会 電話 011-231-8000
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2.7 4階

福祉の現場から「ありがとう」の声が届いています。

三笠市

三笠市社会福祉協議会

災害ボランティアセンター設置準備事業



事前に必要な物品を備蓄し、災害発生時にはセンターの設置および運営が円滑にできるよう準備をしています。また三笠市は豪雪地帯で、過去に雪害で悩まされた年もあり、冬季における災害への対応も求められることから、あらゆる状況に対応できる準備が必要となります。今後は備品の整備を継続して行い、災害ボランティアセンター設置運営訓練なども検討しています。ありがとうございました。

苫小牧市

(NPO)もなみ会
サポートセンターあそしえ

車両購入事業(セレナ)



皆様からの募金のおかげで、8人乗りの送迎車両を購入することができました。公共交通機関の利用が困難な方々を対象に送迎サービスを行っていますが、行事等を行う際にも有効に使わせていただきます。今後は希望される多くのニーズに応え、サービスの充実につなげることが出来ます。皆様の善意に感謝し、これからも一生懸命頑張ります。本当にありがとうございました。

あなたの募金が、北海道の福祉を支えています。

子どもたちや青少年の健全育成のために

子育て中のお母さん、お父さんを応援する活動や、子どもたちが地域で暮らす様々な世代の人たちと触れ合う世代間交流事業のほか、児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援を行っています。



被災者とボランティアを支える活動のために

大規模な災害が起こった際に被災された人たちとボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられます。



お年寄りが安心して暮らせる地域づくりに

一人暮らしのお年寄りのためにボランティアさんが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とした活動等に役立てられています。



障がいのある人たちの社会自立のために

障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入、または福祉施設への車両整備等に役立てられています。



地域で活躍するボランティアの育成や研修に

学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。



赤い羽根共同募金は「計画募金」です。

3~5月

助成計画と目標を立てる



助成計画を立て、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取りかかります。

10月1日

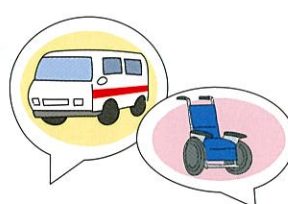
募金活動が一斉にスタート



全道各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

翌年度に向けて

福祉団体から申請を募集



社会福祉施設や団体、ボランティアなどから、助成が必要な福祉活動の申請を募集し、配分委員会等により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後募金は助成先へ



寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。